



ネットトヨタ三重&つうぴー編集室 presents

部活応援隊が行く!!

高田高等学校
女子サッカー一部
編

高田高等学校 女子サッカー部

モチベーションを高く持ち、コツコツと挑戦し続ける

皇后杯JFA第42回全日本女子サッカー選手権大会
東海大会出場などの実績を持つ、高田高等学校女子サッカー部。
現在は選手4人が所属。U-15の女子サッカーチーム「みえ高田FC」の
メンバーとともに練習に励み、技術を磨いています。

Q1 競技の魅力は？

A1 (木村さん) 2歳
上の姉と一緒に、
6歳からサツ
カーを始め、ずっと
続けてきました。一人
ではなくチームで戦い、勝った
ときはみんなで喜べるし
負けたときは励まし
合える
ことが
競技の
魅力だ
と思います。



キャプテン
(2年生)
木村 翼さん
(きむら つばさ)

Q2 チームの強みは？

A2 (木村さん) 少人数のチームですが、一人
一人が主役になって、仲良く声をかけあ
いながら練習できるところです。



Q3 チームの課題は？

A3 (林監督) 上のレベルの要求に
少しずつトライしながら彼女たちの
できることの輪を広げていき、自分たちで
できるようにベースを作ることです。



(森田さん) 公益財団法人日本サッカー協
会(JFA)が主催する大会については、
「みえ高田FC」のメンバーとともに出場
しているのですが、三重県高等学校体育
連盟が主催する大会には、部員数が足ら
ず今年は出場が叶いません。なんとか人
数を集めて大会出場を目指したいです。
(木村さん) 少人数で戦い抜くための体力
をつけることです。

Q4 今の目標は？

A4 (木村さん) 来年秋に開催される三重
県高等学校女子サッカー選手権大会
に出場することです。

Q5 キャプテンとしてどんな チームにしたいですか？

A5 (木村さん) みんなで仲良く
サッカーができる雰囲気の良い
チームにしたいです。

Q6 部員の成長を 感じるところは？

A6 (林監督) 人数が少な
くモチベーションを保
つのが難しい中で、こ
ちらが伝えていること
を理解できるようにな
り、自分たちからすんで
取り組もうという姿勢が見
られるようになったところです。

二次元コードを
読み取ると
女子サッカー部の
コメントが見られ
ます。



Q7 部活動を通じて生徒に学んで ほしいことは？

A7 (林監督) 失敗するのは怖いことですが、今だから
こそトライして、自分の可能性を感じ、自分の幅・
深みを広げてほしいです。トライする習慣づけが
できているのであれば、社会に出てもやっていけま
すし、たとえ上手くいかなくても今までのよう
な工夫をして課題に取り組んできたかと、自身を
振り返ることができるようになっていいると思いま
す。4か月前と比べて、成長した彼女たちに出会え
てきますし、卒業を迎える
頃に、「こんなところまで来
たんだな」と思えるように
なしてほしいですね。



顧問 森田 琳先生

監督 林 一章先生



ネットトヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!